

2026年9月期 中間決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年5月15日
上場取引所 東

上場会社名 ナウビレッジ株式会社
コード番号 355A URL <https://www.now-village.jp/>
代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今村 邦之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0 (氏名) 三宮 洋太 TEL 03 (6826) 2235
中間発行情報公表予定日 2026年6月30日 配当支払開始予定日 —
中間決算補足説明資料作成の有無：無
中間決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期中間期の業績(2025年10月1日～2026年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	221	50.7	22	49.9	21	47.1	14	36.5
2025年9月期中間期	147	—	14	—	14	—	10	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	21.06	—
2025年9月期中間期	15.43	—

(注) 1. 2024年9月期中間期については、中間財務諸表を作成していないため、2025年9月期中間期の対前年中間期増減率は記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
3. 当社は2024年11月29日開催の臨時取締役会の決議に基づき、2024年12月21日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行いました。が、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	220	83	37.7
2025年9月期	215	70	32.8

(参考) 自己資本 2026年9月期中間期 83百万円 2025年9月期 70百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等 物中間期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年9月期中間期	0	△0	△6	113
2025年9月期中間期	16	△3	△6	118

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	0.00	3.08	3.08
2026年9月期	0.00		
2026年9月期(予想)		—	—

(注) 2026年9月期の期末の配当金額は未定であります。

3. 2026年9月期の業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	382	17.9	16	△23.8	16	△11.9	11	△21.7	16.12

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期中間期	700,000株	2025年9月期	700,000株
② 期末自己株式数	2026年9月期中間期	一株	2025年9月期	一株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年9月期中間期	700,000株	2025年9月期中間期	700,000株

（注）当社は、2024年11月29日開催の臨時取締役会の決議に基づき、2024年12月21日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っており、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間における日本経済は、賃上げの広がりやインバウンド需要の継続を背景に、個人消費や企業収益に持ち直しの動きがみられました。一方で、米国の通商政策の変更に伴う関税引き上げの影響や、地政学リスクの長期化、原材料価格・エネルギーコストの高止まり、為替の変動といった外部環境の不確実性が高まっており、企業の設備投資や消費動向への先行き不透明感が残る状態が続いています。

デジタルマーケティング業界においては、デジタル化の進展を背景に市場の拡大が続いています。株式会社電通の「2025年 日本の広告費」によると、2025年の日本のインターネット広告費は前年比110.8%の4兆459億円となり、初めて4兆円を超えました。総広告費に占める構成比は50.2%と初めて過半数に達しており、企業のデジタル投資の加速が鮮明となっています。

こうした状況の中、当社は、自社マーケティングの強化、上場に伴う案件増加に対応するための採用・人材育成の推進、及び支援サービスの充実に取り組んでまいりました。採用した人材の早期戦力化を図るとともに、均一的かつ高品質なサービス提供体制の構築を進め、安定した成長を目指しております。

これらの結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高は221,994千円（前年同期比50.7%増）、営業利益は22,123千円（前年同期比49.9%増）、経常利益は21,963千円（前年同期比47.1%増）、中間純利益は14,742千円（前年同期比36.5%増）となりました。

なお、当社はマーケティング・コンサルティング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当中間会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ5,994千円増加し、197,922千円となりました。これは主に、現金及び預金が7,263千円減少した一方で、売掛金が12,363千円増加したことによるものであります。

（固定資産）

当中間会計期間末における固定資産は、前事業年度末に比べ799千円減少し、22,575千円となりました。

（流動負債）

当中間会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ2,071千円減少し、109,602千円となりました。これは主に、未払法人税等が5,711千円、役員賞与引当金が2,460千円増加した一方で、買掛金が1,426千円減少したことによるものであります。

（固定負債）

当中間会計期間末における固定負債は、前事業年度末に比べ5,320千円減少し、27,664千円となりました。これは主に、長期借入金が4,089千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ12,586千円増加し、83,232千円となりました。これは主に、剰余金の配当2,156千円があった一方で、中間純利益14,742千円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ7,263千円減少し、113,473千円となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、16千円（前年同期は16,539千円の収入）となりました。これは主に、税引前中間純利益21,963千円、役員賞与引当金の増加額2,460千円があった一方で、売上債権の増加額12,363千円、契約負債の減少額6,881千円、法人税等の支払額2,740千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、600千円（前年同期比82.0%減）となりました。これは、保険積立金の積立による支出が600千円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、6,680千円（前年同期比0.2%減）となりました。これは、長期借入金の返済による支出が4,524千円、配当金の支払額が2,156千円あったことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の業績予想につきましては、2025年11月14日に公表いたしました「2025年9月期 決算短信」に記載のとおりであり、変更はありません。なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当中間会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	120,737	113,473
売掛金	65,206	77,570
その他	6,354	7,328
貸倒引当金	△370	△450
流動資産合計	191,928	197,922
固定資産		
有形固定資産	1,833	1,528
無形固定資産	3,336	2,965
投資その他の資産	18,205	18,082
固定資産合計	23,375	22,575
資産合計	215,303	220,498

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年 9 月 30 日)	当中間会計期間 (2026年 3 月 31 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,119	38,692
1 年内返済予定の長期借入金	9,048	8,613
未払法人税等	2,733	8,445
役員賞与引当金	-	2,460
その他	59,772	51,391
流動負債合計	111,673	109,602
固定負債		
長期借入金	31,416	27,327
その他	1,568	337
固定負債合計	32,984	27,664
負債合計	144,657	137,266
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	30,000
利益剰余金		
利益準備金	327	542
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	63,318	52,689
利益剰余金合計	63,645	53,232
株主資本合計	70,645	83,232
純資産合計	70,645	83,232
負債純資産合計	215,303	220,498

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	147,326	221,994
売上原価	67,484	102,966
売上総利益	79,841	119,028
販売費及び一般管理費	65,087	96,904
営業利益	14,754	22,123
営業外収益		
受取利息	17	45
補助金収入	460	-
その他	2	0
営業外収益合計	479	45
営業外費用		
支払利息	300	205
営業外費用合計	300	205
経常利益	14,933	21,963
税引前中間純利益	14,933	21,963
法人税、住民税及び事業税	4,595	8,452
法人税等調整額	△464	△1,231
法人税等合計	4,130	7,220
中間純利益	10,803	14,742

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	14,933	21,963
減価償却費	376	676
敷金償却費	472	472
受取利息	△17	△45
支払利息	300	205
補助金収入	△460	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	30	80
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,281	-
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	750	2,460
売上債権の増減額(△は増加)	△13,572	△12,363
前払費用の増減額(△は増加)	△1,158	△974
未収入金の増減額(△は増加)	5,050	-
仕入債務の増減額(△は減少)	2,947	△1,426
未払金の増減額(△は減少)	689	△8
未払費用の増減額(△は減少)	△459	1,538
未払消費税等の増減額(△は減少)	774	△1,821
契約負債の増減額(△は減少)	6,741	△6,881
預り金の増減額(△は減少)	△0	△1,208
その他	29	250
小計	18,708	2,916
利息の受取額	17	45
利息の支払額	△300	△205
補助金の受取額	460	-
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,345	△2,740
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,539	16
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	△2,134	-
保険積立金の積立による支出	△1,200	△600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,334	△600
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△5,316	△4,524
配当金の支払額	△1,377	△2,156
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,693	△6,680
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,511	△7,263
現金及び現金同等物の期首残高	112,326	120,737
現金及び現金同等物の中間期末残高	118,838	113,473

（4）中間財務諸表に関する注記事項
（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2025年12月26日開催の第5回定時株主総会の決議に基づき、その他利益剰余金から資本金へ23,000千円の振替を行いました。これにより、当中間会計期間末において資本金は30,000千円となっております。